

## 第39期第9回理事会議事録

日 時：2017年2月21日（火）13時30分～17時35分

会 場：ちよだプラットフォームスクウェア  
会議室504（東京都千代田区）

出席理事：岩崎俊樹，瀬上哲秀，石原幸司，近藤 豊，  
佐藤正樹，坪木和久，中村 尚，平松信昭，  
藤部文昭，山田和孝，渡部雅浩，以上11名

Web 会議システムを通じた出席理事：廣岡俊彦\*，

堀之内 武\*，余田成男\*\*，以上3名

\*：議題5の途中から欠席

\*\*：議題5の途中から出席

（理事現在数20名）

出席監事：鈴木 靖，高谷康太郎，以上2名

その他の出席者：下道，渡辺，志村（事務局）

## 議 題

1. 第39期第8回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会60，退会4を全会一致で承認した。2017年2月14日現在，会員数3,475名で個人会員は3,231名。

3. 2015年度決算の修正（正味財産増減計算書）

総会で承認された2015年度決算における，2014年度に受け入れた寄付金を指定正味財産に振り替えた会計処理について，内閣府から一般正味財産の経常外経費「過年度修正損」に計上した上で指定正味財産の「過年度受取寄付金」に計上するよう修正すべきとの指摘があった。内閣府の指摘に沿って決算を修正することを全会一致で承認した。

4. 2017年度事業計画案，収支予算案について

2017年度の事業計画案及び収支予算案について検討し，全会一致で案を承認した。

5. 各委員会からの報告

庶務（業）…以下の報告があった。

1) 転載許可

①申請者：古今書院

転載元：Fig.1, T. Kobayashi, 1957: Experimental Researches on the Snow Crystal Habit and Growth by Means of a Diffusion Cloud Chamber, J. Meteor. Soc. Japan, 35A, 38-47.

転載先：亀田貴雄・高橋修平「雪氷学」，古今書院発行予定

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：防犯防災総合展 in KANSAI 2017

主催：防犯防災総合展実行委員会，テレビ大阪株式会社

期日：2017年6月8日～9日

場所：インテックス大阪

名義：後援

②名称：第45回可視化情報シンポジウム

主催：一般社団法人可視化情報学会

期日：2017年7月18日～19日

場所：工学院大学 新宿キャンパス

名義：協賛

3) その他

①2月15日付 国立情報学研究所電子図書館に係る覚書の廃止について（通知）文書を受領。2017年3月31日をもって，電子図書館（NII-ELS）事業が終了される。

会計（業）…2017年1月分の収支及び現預金検査報告。

企画調整（業）…以下の報告があった。

- ・第39期の評議員員について委嘱が完了したこと，また第1回の評議員会を4月21日に開催することが報告された。

- ・気象ビジネス推進コンソーシアムについて，公益社団法人として協力できる範囲で参加することを全会一致で承認した。

講演企画…春季大会の申込受付を予定通り完了したことが報告された。

天気…Vol. 64 No. 2（2017年2月号）の掲載記事と，Vol. 64 No. 3, 4（2017年3, 4月号）の予定記事の報告。

気象集誌…以下の報告があった。

- ・B, C 会員向けの気象集誌の配布方法の変更についてのアンケート様式の報告。

- ・論文の投稿及び査読状況の報告。投稿数が少ない。

気象研究ノート…以下の報告があった。

- ・第232号「気象学における非弾性力学入門」を2月23日発行予定であることが報告された。

- ・将来は，特別な依頼原稿を除き，原則として原稿料なしとする可能性を編集委員会で議論してゆく方針であることが報告された。

各賞…学会賞，藤原賞及び岸保・立平賞の推薦理由について確認を行った。

気象研究コンソーシアム…気象庁のレーダーデータ提供について，ハードウェア面の準備が完了したことが報告された。春季大会後に提供を予定。

教育と普及…以下の報告があった。

- ・2月4日に実施した気象予報士 CPD 運営委員会の報告。現状報告のほか，形態別の上限ポイントの見直しとロゴマークの選定を実施。
- ・ジュニアセッションの応募状況の報告。
- ・公開気象講演会について，テーマを「大雨」とし，準備を進めていることが報告された。聴講は事前登録制とする。

## 6. 日本学術会議・安全保障と学術に関する検討委員会 中間報告

日本学術会議における軍事的安全保障研究への対応の中間報告が共有された。日本気象学会としても対応が求められる可能性があり，今後，全体的なスタンスを持つ必要性が提起された。

平成29年3月23日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎 俊樹

監事 鈴木 靖

監事 高谷康太郎